

令和 7 年度名城大学寄附講座

令和 7 年度の名城大学寄附講座が、4 月 9 日（4 月 9 日は遠隔授業、4 月 16 日から対面授業スタート）から開講となりました。この寄附講座は、名城大学法学部 1 年生～4 年生を対象に行っています。愛知会では平成 23 年に始まった寄附講座も今年で 16 年目になります。講義テーマは『不動産登記と土地家屋調査士』です。毎週水曜日の 2 限目（10 時 50 分～12 時 20 分）に行われ、第 1 講の「ガイダンス」から始まり第 15 講まで、毎週週替わりで愛知会会員である講師の方々にご協力いただき講義が進んでいきます。第 5 講、第 6 講は石川会会員の方にご協力いただきます。各講義内容は「登記制度」・「建物」・「土地」・「測量」・「相続」・「他法令業務」・「ドローン・3D スキャナ」等。学生は、7 月下旬までの全 15 講義受講後にレポート課題を提出いただき、出席日数と合わせて合否を決定し、合格者には 2 単位が付与されます。



今年度は、4 月 16 日現在で、なんと 182 名（令和 6 年度 127 名、令和 5 年度 86 名）の方が科目登録をされ、対面授業の初日は、教室が満席となり数名の学生は立ち見授業となってしまいました。大学側に急きょ教室の変更を調整していただき、次の週からは少し大きな講義室へと変更になりました。

この寄附講座は、土地家屋調査士という資格、仕事の魅力を学生に知っていただくこと、実務家として各講師の経験談、資格を目指した経緯などをお伝えし、一人でも多くの学生が職業として目指していただけるようになることを目標としています。

私は、平成 29 年度から 5 年間寄附講座講師を経験させていただき、その後は委員として本委員会に携わっております。講師初年度は講義をこなすことで精一杯でしたが、経験を重ねるにしたがって余裕もでき、学生に上手く伝わるように工夫して臨んでいました。私は大学法学部卒業ですので、受講生と同じ境遇なこともあり、大学時代の経験（遊んでばかりでしたが…）、資格試験に挑戦した経緯、苦労した部分などを講義に盛り込んで話をしていました。将来、土地家屋調査士を目指したいという学生が一人でも増えることを期待しています。

またこの寄附講座では、講師も募集しております。現在は役員からのスカウトのような形でお声掛けさせていただいておりますが、やってみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。今後も会員の皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（寄附講座運営委員会 委員長 鈴木謙一）